



125th
Anniversary
since 1900

国道 号線 スタディーズ・序説 — 青山通りの近現代を歩く —

2026 年

3月20日(金・祝)

14:00 ~ 15:30

[OPEN 13:40]

紀伊國屋書店新宿本店3階
アカデミック・ラウンジ

参加無料・入退場自由

3/19 (木)
17:00 まで

事前に二次元コードより
お申込みをお願いいたします。

(事前申込なしのお客様もご参加いただけます。
当日会場までお越しください。)



国道 246 号線スタディーズ・序説 —青山通りの近現代を歩く—

青山、渋谷、三軒茶屋といった人気スポットを經由し、厚木、そして沼津へと至る国道246号線。首都圏において重要なこの国道を通して、都心と郊外の歴史と現在を考えます。本講座では、起点の三宅坂から渋谷までの「青山通り」の区間の近現代史を、「ミリタリー」・「スポーツ」・「音楽」をキーワードに読み解きます。ミニ・ワークショップの実施も予定しており、参加者と対話しながら「ニーヨンロク」について考えたいと思います。

「246」といえば・・・
乃木坂46の『Route246』かなあ。

講師

相模女子大学学芸学部メディア情報学科准教授
相模女子大学日本学国際研究所研究員

塚田 修一



1981年生まれ。

慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学後、法政大学兼任講師等を経て、2020年より相模女子大学学芸学部メディア情報学科専任講師。2023年より同准教授。

専門は都市研究、メディア文化論。主な業績として、『国道16号線スタディーズ』（共編著、青弓社）、『ガールズ・アーバン・スタディーズ』（共編著、法律文化社）、『大学的相模ガイド』（編著、昭和堂）など。

会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店 3階 アカデミック・ラウンジ
JR「新宿」駅 東口より 徒歩3分
地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線
「新宿三丁目」駅 B7出口より 徒歩1分（地下道より直結）



相模女子大学日本学国際研究所とは...

相模女子大学は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に相模女子大学日本学国際研究所を開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っては見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。